



## 田中薫博士略歴・著作目録（田中薫博士記念號）

**(Citation)**

国民経済雑誌, 106(5):122-126

**(Issue Date)**

1962-11

**(Resource Type)**

departmental bulletin paper

**(Version)**

Version of Record

**(JaLCOI)**

<https://doi.org/10.24546/00167876>

**(URL)**

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00167876>



## 田中 薫 博士略歴・著作目録

### 略 歴

- 明治31年6月11日 東京都文京区水道端2丁目42番地に生まる
- 大正10年3月 学習院高等学科卒業
- 大正13年3月 東京帝国大学理学部地理学科卒業
- 大正14年12月 東京帝国大学法学部政治科中退
- 大正15年1月 東京商科大学予科講師
- 昭和2年2月 神戸高等商業学校講師
- 昭和3年1月 経済地理研究のためイギリス、ドイツ、アメリカ合衆国へ留学
- 昭和4年5月 神戸商業大学附属商学専門部教授
- 昭和6年10月 神戸商業大学助教授
- 昭和6年10月 帰 朝
- 昭和9年4月 フィリピン諸島へ出張
- 昭和12年7月 満州国へ出張
- 昭和14年7月 キューバ地理学会名誉会員
- 昭和15年5月 神戸商業大学予科講師
- 昭和15年6月 神戸商業大学教授
- 昭和15年7月 中華民国へ出張
- 昭和17年6月 高等官二等
- 昭和18年1月 勲四等瑞宝章
- 昭和18年7月 襲爵（子爵）
- 昭和19年5月 正四位
- 昭和19年6月 日本学術会議地理学研究委員会委員
- 昭和19年10月 神戸経済大学教授
- 昭和21年5月 貴族院議員（22年5月まで）
- 昭和22年創立から 兵庫地理学協会会長
- 昭和22年4月 日本地理学会評議員（33年3月まで）
- 昭和22年5月から 東京地学協会評議員
- 昭和25年7月 学術研究のためアメリカ合衆国へ出張（25年12月まで）
- 昭和26年5月 東京大学理学部教授に併任（28年3月まで）

- 昭和 27 年 から 日本自然保護協会評議員
- 昭和 27 年 7 月 国際地理学連合第 8 回総会, 第17回国際地理学会議並びに米国地理学会創立百年祭に日本学術会議首席代表として出席, 会議主催の研究旅行に参加のためアメリカ合衆国へ出張。第三回国際自然保護会議のためベネズエラ国カラカスに出張 (27年10月まで)
- 昭和 28 年 4 月 神戸大学教授 (経済学部), 神戸大学神戸経済大学教授に併任
- 昭和 28 年 4 月 神戸大学大学院経済学研究科 5 年課程を担当
- 昭和 28 年 6 月 東京大学教授 (教養学部) に併任 (29年3月まで)
- 昭和 31 年 国立公園協会評議員 (36年9月まで)
- 昭和 31 年 8 月 第18回国際地理学会議参加およびアマゾン地域日本人移民の環境調査のためブラジルに出張 (32年1月まで)
- 昭和 31 年 10 月 国際地理学会議組織委員会委員 (35年4月まで)
- 昭和 33 年 1 月 日智合同パタゴニア・アンデス探検のためチリーへ出張 (33年4月まで)
- 昭和 34 年 3 月 神戸大学評議員 (36年5月まで)
- 昭和 35 年 7 月 第19回国際地理学会議に出席並びにスウェーデン, アイスランド, ドイツ, ポルトガル, イタリア, ギリシア, パキスタンおよび香港の各国へ出張 (35年10月まで)
- 昭和 36 年 12 月 理学博士 (学位論文「氷河閉塞湖アルコの氷河洪水に関する地理学的研究」)
- 昭和 37 年 3 月 神戸大学退官
- 昭和 37 年 4 月 神戸大学名誉教授
- 昭和 37 年 4 月 聖母女学院短期大学教授
- 昭和 37 年 4 月 成城大学教授併任

## 著 作 目 録

## — 著 書 —

- |   |           |          |
|---|-----------|----------|
| 登 山   | 目 黒 書 店   | 大正14年 7月 |
| 経済地理の教養   | 古 今 書 院   | 昭和 3年 7月 |
| 工業地理(岩波講座)  | 岩 波 書 店   | 昭和 9年 6月 |
| 地 学 写 真   | 古 今 書 院   | 昭和10年 8月 |
| 台湾の山と蕃人   | 古 今 書 院   | 昭和12年 6月 |
| 氷 河 の 山 旅   | 朋 文 堂     | 昭和18年11月 |
| 東印度—ジャワ・バリイ・ロンボック・セレベス—   |           |          |
|   | 目 黒 書 店   | 昭和19年 1月 |
| アメリカの経済地誌   | 目 黒 書 店   | 昭和28年 3月 |
| ブラジル(アサヒ写真ブック47)  |           | 昭和32年 6月 |
| 大氷河を行く(南米チリ・パタゴニア探検) 編著   |           |          |
|   | 毎 日 新 聞 社 | 昭和33年11月 |
| 地 理 写 真 手 帳   | 古 今 書 院   | 昭和35年10月 |
| Geographical Contribution to a Periglacial Study of the Hielo Patagónico Norte with Special Reference to the Glacial Outburst Originated from Glacier-Dammed Lago Arco, Chilean Patagonia |           | 昭和36年12月 |
| 原色世界衣服大図鑑(田中千代と共著) 保 育 社  |           | 昭和36年12月 |

## — 論 文 —

- |                                |                   |               |
|--------------------------------|-------------------|---------------|
| 震災直後に於ける東京市の交通                 | 地理学評論 第1巻第2・3・5号  | 大正14年4月・5月・7月 |
| 上海を中心とする交通区域について               | 地理学評論 第2巻第4・5号    | 大正15年 4月・5月   |
| 雪崩の分類と本邦中部高山地に於ける雪崩の形態に就いて     | 地理学評論 第4巻第5号      | 昭和 3年 5月      |
| 地学写真の実技的方面                     | 地理学評論 第1巻第3号      | 昭和 8年12月      |
|                                | 第2巻第1・3・8・9号      | 昭和 9年1・3・8・9月 |
|                                | 第3巻第1号            | 昭和10年 1月      |
| 台湾南湖大山山麓に於ける氷蝕地形に就いて(鹿野忠雄との共著) | 地理学評論 第10巻第3号     | 昭和 9年 3月      |
| 南 湖 大 山 の 記                    | 「山岳」第29巻          | 昭和 9年         |
| アウスランドクンデと経済地誌学                | 国民経済雑誌 第58巻第4号    | 昭和10年 4月      |
| 台湾蕎麥連峯に於ける氷河地形の疑に就いて           |                   |               |
|                                | 地理学評論 第11巻第6号     | 昭和10年 6月      |
| 台湾に於ける山地耕作景の一研究                | 神戸商業大学創立三十周年記念論文集 | 昭和10年10月      |
| 風 景 地 理 学                      | 地理学 第4巻第5号        | 昭和11年 5月      |
| 台湾山岳高所に産する擦痕に就いて               | 地理学評論 第12巻第5号     | 昭和11年 5月      |

- 探検と民衆 地理学 第4巻第8号 昭和11年8月
- Remarkable Glaciated Rocks found in the High Mountains of the Central Upland of Japan 日本学士院欧文紀要 第11巻 昭和11年
- 台湾山岳高所に産する擦痕に就いて 地理学評論 第12巻第5号 昭和11年5月
- 台湾高山地帯の積雪に就いて 地理学評論 第13巻第6号 昭和12年6月
- 気候地理学上より見たる満洲移民 国民経済雑誌 第64巻第3号 昭和13年3月
- Glaciated Topography in the Kambo Massif, Tyosen (Korea) (佐々保雄との共著) 北大理学部欧文紀要第IV類第IV巻第 $\frac{1}{2}$ 号 昭和13年
- Glaciated Topography Traced in Taiwan Proceeding: XIth International Geographical Congress (Amsterdam), 1938.
- Emigration to Manchuria in the Light of Climatological Geography The Journal of the Kobe University of Commerce, 1939.
- 槍・穂高連峰の氷蝕地形に就いて 地理学評論 第17巻第8号 昭和16年8月
- 日本に於ける歴史学偏重と地理学 国民経済雑誌 第80巻第3・4号 昭和24年3・4月
- 国際協力 「人文地理学」(辻村太郎, 内田寛一共編) 昭和26年4月
- アメリカの農業地理 国民経済雑誌 第84巻第6号 昭和26年12月
- コンサヴェーションについて 地学雑誌 昭和27年
- コンサヴェーションについて 神戸経済大学創立五十周年記念論文集(経済学編) 昭和28年5月
- 離島振興と屋久島(前編) 国民経済雑誌 第89巻第2号 昭和29年2月
- 同上(後編) 国民経済雑誌 第89巻第4号 昭和29年4月
- アジアの人口増加(山崎禎一と共著) 「アジア経済の現勢と日本」(宮田喜代蔵編) 昭和29年7月
- 北上川流域を例とする総合開発について 国民経済雑誌 第91巻第5号 昭和30年5月
- 国際政治 「最近の地理学」(新地理学講座第8巻) 昭和31年6月
- エトロフ島チリップ半島とその氷蝕の疑ある地形 田中秀作教授古稀記念地理学論文集 昭和31年10月
- Japanese Immigrants in Amazonia and their Future Kobe University Economic Review 3, 1957.
- 合衆国における自然の保護 「自然と社会」(現代地理講座) 昭和32年1月
- アマゾンの日本人移住者 「アマゾンの自然と社会」(多田文男編) 昭和32年10月
- アンデス諸国の辺境開発の焦点, その日本人移住地との関連 昭和32年10月
- 「対南米経済政策」(神戸大学経済経営研究所) 昭和35年5月
- チリー領パタゴニアのリオ・バケル地区における土地と民生——「日智合同パタゴニア, アンデス探検1958」の人文地理報告の一部として—— 神戸大学経済学研究年報7号 昭和35年7月
- パタゴニア北氷陸の氷河周辺地形について

- 辻村太郎先生古稀記念地理学論文集 昭和36年3月  
 On the Glacial Flood as a Disaster to Frontier Settlements in Chilean Patagonia  
 Kobe University Economic Review 7, 1962.  
 アルゼンチンの地理的環境 「アルゼンチンの経済構造」(柴田銀次郎編) 研究参考資料第27集(アジア経済研究所) 昭和37年10月

—編・監修・企画—

- 季刊「社会地理」(企画・編) 日本社会地理協会 昭和22年9月～23年7月  
 写真地誌日本(辻村太郎と共監) 講談社 昭和27年7月  
 日本経済地図(安芸岐一, 都留重人, 木内信蔵と共監) 全国教育図書 昭和29年3月  
 ラテンアメリカ(世界文化地理大系24)(編) 平凡社 昭和29年10月

其の他の事典, 地誌, 講座類の分担執筆並に紀行, 随筆は省く。

(大原久和)

執筆者紹介(執筆順)

- 石田龍次郎……一橋大学社会学部教授  
 木内信蔵……東京大学教授 理学博士  
 能登志雄……東北大学理学部教授 理学博士  
 宮下忠雄……神戸大学経済学部教授 経済学博士  
 米花稔……神戸大学経済経営研究所教授 経営学博士  
 石光享……総理府科学技術庁資源局技官